

1学年総合的な学習の時間：「発見!東久留米市プレゼン隊」

6/6~7/13
(8時間)

連携先:保護者(インタビュー)

ねらい:東久留米市の名所・歴史・文化などの魅力や東久留米市の課題や改善策を見いだす。

- 自己有用感を高める
- 他者と協働する力を高める
- 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- 様々な活動に意欲的に参加できるようになる



課題設定

- ①「東久留米市を知らない人に東久留米市を紹介する」ための班(5~6名)で、テーマを設定する。
- ②班テーマの中で、各自がサブテーマを決定する。
(例:テーマ→歴史、サブテーマ→戦争について)

情報収集

- ①ワークシートを配布し、各自でサブテーマを調べる。
(タブレット学習・保護者へのインタビュー、本)
※聞き手が興味を持ってくれるような情報を探すように指示し、場面設定の意識を生徒にしっかりと持たせる。

整理・分析

- ①サブテーマについて、整理・分析をする。
- ②役割分担をして、発表用資料(スライド)を作成する。
→(画像、イラストの出典をスライドに明記させる)

まとめ・表現

- ①班ごとに発表(各班5分程度)
- ②発表活動の振り返りを行う。
(東久留米市の課題・改善出来たらよいと思うことや自身の感想等をポートフォリオに記入し、生徒の考えや成長を可視化する。)

例示したテーマ

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ①歴史(お祭り・伝統行事とかぶらないようにする) | ②特産品・グルメ(チェーン店などは不可) |
| ③自然 | ④お祭り・伝統行事 |
| ⑤偉人・著名人 | ⑥防災・安全 |
| ⑦都市計画 | ⑧公共施設・企業との役割 |
| ⑨SDGs(人数分項目を選んで) | |



成果

- ・サブテーマ決めやスライド作成の役割分担等で、班員と協力して行うことができたことで、他者と協働する力を高めることが出来た生徒が多かった。
- ・東久留米市を知ることが、地域の一員であるという自覚を高めることに繋がった

課題

- ・地域の方を招いて発表を聞いていただき、質疑応答の時間等を設けるなど、より地域に密着した活動を行っていく。